

アメリカ・シアトル市長の来校

令和6年4月23日

シアトル市長の Bruce Harrell 氏をはじめ、市長夫人、市職員、先住民族代表者等、15名が来校され、本校生約30名と交流しました。

皆さんは、姉妹都市の神戸市に新たにストーリーポールを贈呈するイベントに神戸にいらっしゃいました。アメリカ領事館を通じてシアトル市長から日本の高校生と交流したいと本校に打診があり、この交流会が実現しました。

校内を見学していただいた後、本校生と新たに完成した探究ルーム（旧視聴覚室）で、まずは市長とストーリーポールを作成した先住民の方から話をいただき、次に3つのグループに分かれてディスカッションを行いました。予定よりも1時間近く終了時間が延びるほど、話は盛り上がりました。

市長のお話の中で、ご自身は初の日系市長であることや、先住民族や様々な人種がいるシアトルではその共通項を探し出すことが重要だとお話しになっていました。多様性を認める社会づくりを学ぶ機会となりました。また、ディスカッションでは、事前に質問を考えていたこともありましたが、シアトルの皆さんは親切丁寧にご対応いただきました。文化の違いを理解し、英語で自分たち考えをディスカッションする貴重な機会となりました。

海外に直接出向くことは、大変貴重な経験となりその効果は大きいですが、その機会は多くありません。このように気軽に国際交流できる機会が一層増えればと思います。



本校とシアトル市との関係： 本校合唱部は、1963年にアメリカで1ヶ月間にわたる演奏旅行を行いました。その最初に訪れたのがシアトル市のイングラム高校でした。生徒やホストファミリーから盛大な歓迎を受け、出発の際には車で神戸高生の「蛍の光」合唱とイングラム高生の「サクラサクラ」の合唱で別れを惜しんだとのこと。